

育桜会だより



今年度の活動を通して

育桜会会長



育桜会会長 阿尾あすかさん

育桜会会員の皆様には、平素より活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

これまでの育桜会活動に加えて、今年度は新しい試みとして、学校と連名での煌星祭バザー・オープンスクールでの保護者ボランティア募集、組織改変に向けての準備を行いました。

本部では話し合いを何度も重ね、持続可能な育桜会活動を模索し続けた一年でした。評議員の皆様には各部会での活動をしていただきながら、貴重なご意見をいただきました。会員の皆様にはアンケートやコードモンでの臨時総会などでご協力をいただきました。また、今回のボランティア募集では多くの方にお手伝いいただき、新たなPTA活動への第一歩となりました。ご協力いただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。

子ども達の安全や学校行事のサポート、教育環境の充実の働きかけ、育桜会活動で保護者の立場から子どもを支援することができます。保健室の教員の増員や校内設備の改修など、過去に育桜会からの要望が後押しして大学から予算が出た例もありました。これからも時代に合わせながらより良い活動を続けていければと思います。皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



画像は12月の学長懇談会で附属こども園・小学校・中学校から保護者の要望をお願いしているところです。

生活安全部 部長

生活安全部部長 門脇さん



生活安全部として登下校の立哨指導（大体年間2～3回）とスポーツデイ閉会後の立哨指導、そして評議員会、学級PTA、学年委員会に参加しました。

立哨では色々な表情を見せてくれる子供達の安全を見守り見送りながら、挨拶っていいなと改めて挨拶の大切さを感じました。

そして、各々の会では先生方や、クラス・学年を超えて多くの方々と交流ができ、有意義な一年を過ごす事が出来たと思っています。

最後になりましたが、生活安全部の活動にご理解、ご協力いただきました先生方や皆様へ生活安全部一同お礼申し上げます。ありがとうございました。

文化体育部 部長

文化体育部部長 棕橋さん



文化体育部の主な活動はスポーツデイの保護者競技と保護者の皆様が集まるイベントを企画することで保護者間の交流を促進する事を目的にしています。今年度はスポーツデイにて大玉運び、秋には奈良団扇作りを開催し、沢山の皆様に参加いただきました。

私自身、最初は仕事の内容もわからず不安でしたが、先生方や役員の皆様から沢山助けていただき1年間有意義な活動が出来ました。感謝しかありません！文化体育部の皆様と繋がれて一緒に色々な事を考えて…素晴らしい1年でした。ありがとうございました！



東大寺見学会に参加しました！



5年ぶり開催！

校長先生をはじめ、50名以上の在校生・卒業生保護者会員が参加されました！

11月21日、教育後援会主催の東大寺見学会に参加しました。
普段は入ることのできない所から大仏を見せていただけると聞き、これは絶対に行かねば！と参加しました。
解説も興味深く、そうなんだ、と思うことも多く、そのお話をいくつか。
大仏は最初、顔のみ金色だった。後に砂金が出て、全身金色になった。
大仏は何度か再建された。再建前は顔が木で造られていた時期があった。
胴は鎌倉時代、顔は江戸時代に再建。
江戸時代には銅の精錬技術が進み、お顔はツルツルで綺麗。
大仏殿は再建で当初よりも小さくなった。高さではなく、横幅が小さくなっただけ。
大仏殿正面上方の観相窓は、
元々、大仏様が外をご覧になれるためのものだったが、
人々が外からも大仏様の顔が見えるようにと窓の位置を下にずらした。
南大門の木の壁は、当時はまだのこぎりがなく、
平らな木を作ることが難しかったから大変貴重なものだった。
木を割って作るが、割れ目を失敗するともう使えなくなるから。
盧舎那仏（大仏）を間近で拝観でき、
普段の拝観では見えない蓮弁に刻まれた図も見せていただき、
貴重な体験をさせていただきました。
感動の日でした。ありがとうございました。
(寺社仏閣&仏像大好き 在校生保護者)



見事！全国大会出場・入賞されました！

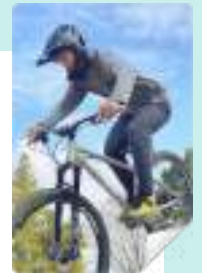
勉強も部活もスポーツも！がんばる生徒さんをご紹介します。

- 近畿中学校総合体育大会 男子シングルス 優勝
3年 上田湧太さん
- 全国学校図書館協議会読書感想文中央コンクール奨励賞
2年 小田結衣奈さん 2年 水野花星さん
- 日本学書展 準特選
3年 尾下遙香さん
- 知事賞 中央審査入選2等
「本校のコケの生育調査」
科学部探究班 3年 西尾百萌子さん
- 県商工会議所連合会長賞 中央審査入選3等
「ブナ科の殺菌効果について」
科学部探究班 3年 奥村侑以さん
- 全国納税貯蓄組合連合会 国税庁長官賞
「税についての作文」
3年 安井友那さん





普段から小麦（グルテン）と砂糖を控え、タンパク質（肉、魚）を中心にした食生活にしています



コロナ禍をきっかけに10歳から始めたマウンテンバイク！

○全国大会に向けて一番頑張ったことは？

あまり頑張ったとは思ってなくて、楽しくやっていた延長線上に大会があるという感じです。

○より上位を目指すためのルーティーンは？

ゴンドラでスタート地点に上がっていく時、リラックスできるように音楽を聴く。

○普段はどのような練習に励まれていますか？

平日は帰宅してから、自宅で30分ほどマシンの自転車をこいでいます。週末は家の周りや山を走っています。自転車はどこでも走れるので気晴らしになります。シリーズ戦が始まるといろんな地域を回ります。

○みなさんに伝えたいことがあれば教えてください。

自転車は危険と思われるけれど、スポーツとして楽しいので、みんなにも怖がらず乗ってほしい。

全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会 3mシンクロナイズドスイミング 第4位

2年2組 山口茉奈さん

オリンピック選手に憧れて、8歳からはじめた飛び込み！

○全国大会に向けて一番頑張ったことは？

体重を落とすことです。筋肉は落とさず、体重だけを落とすので、食事は玄米・野菜・鶏肉・豆腐を食べています。

○より上位を目指すためのルーティーンは？

先生に言われたことは練習の時からできるように意識しています。上手な人のフォームがどうなっているのかを見えています。

○普段はどのような練習に励まれていますか？

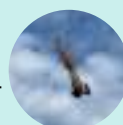
土日は飛び込みのできるプールへ。平日は自宅駐車場に競技用トランポリンを置いて練習しています。

○試合前の勝負飯は？

家族でカツを食べにいきます。



飛び込み台のあまりの高さに涙が出ることも...
恐怖に打ち勝って、華麗に空中に舞います



WRO（国際ロボットオリンピック）Japan 2024 奈良県予選会
ROBO MISSIONカテゴリー エキスパート競技中学生部門 準優勝

科学部ロボット班3年・2年

Gecko-L

屋鋪啓都さん

長谷川大翔さん 森川雄大さん



富山県で行われた全国大会前夜は、顧問の葉山先生・高校生部門で出場していた科学部OB・家族と一緒に富山ラーメンを食べて気合いを入れたという仲よし3人組。



3人で力を合わせて、決勝大会 in 富山に出場！

○全国大会に向けて1番頑張ったことは？

プログラムが正しく動くか検証したり、先輩が焦らないように声かけをした。(森川)

プログラマーからロボット担当に報告があれば、機構の工夫をした。

顧問の葉山先生に毎日ロボットゲームの点数を報告をした。(長谷川)

○より上位を目指すためのルーティンは？

毎週週末に好物の牡蠣を食べ、「よしがんばろう！」とモチベーションを上げて練習をした。(長谷川)

○普段はどのような練習に励まれていますか？

大会前になると焦りが出るから自分たちの実力を試すために、大会本番を想定してコンペを行った。

ロボットゲームの時間や点数など改善点を探すため、動画を撮って検証をした。(森川)

ロボットには一人だけの意見は取り入れず、必ず全員で話し合って決めた。

去年はチームの連携が取れておらず、誰かに責任を押し付けていた。

その反省点を改善できるように、全員が意欲的に取り組めるような環境作りをした。

誰かに作業を押し付けることがないようにチーム内で励ましあった。(屋鋪)

○みなさんに伝えたいことがあれば教えてください。

今年全国大会に行けたことは決してまぐれではない。

去年できていなかったことを活かして、今年は必ずできるように、

満点が取れるように、毎日少しずつロボットのプログラムを作成・記録し、

改善できるように工夫した。それが全国大会出場につながったと思う。(屋鋪)



科学部ロボット班2年 ZERO

池田樹さん 大島誠吾さん 片山隆也さん 月見漣太さん 中西瑛士さん
長谷川大翔さん 平瀬蒼空さん 藤本悠吾さん 森川雄大さん 森川椋介さん



皆で力を合わせて、大阪予選大会
第3位をいただきました！



スタート地点に待機中の
ベースロボット



入試休校期間中も学外の施設に
集まって、東京での全国大会に向
けて練習に励みました！

10人で役割分担をして、東京開催の全国大会に出場！

○全国大会に向けて一番頑張ったことは？

ロボットの機構やプログラムが完成すると、みんなでコンペを行って、動画に撮り、どこが弱点なのかを発見することに注力した。(池田)

機構作りを頑張った。プログラマーからだめだと指摘された時は、

プログラマーがプログラミングしやすいように機構を作り変えた。(長谷川)

動画編集を担当して、プレゼン用のゲーム紹介動画など3つを作った。(平瀬)

イノベーションチームとロボットチームのそれぞれが、自分達の状況がわかるように、

毎日欠かさずミーティングをして情報共有や意見交換をした。みんなで頑張った。(森川雄)



○より上位を目指すためのルーティーンは？

練習の質を高めるために、みんなで一緒に活動する時はみんなですることをするようにした。家にいる時は、学校の課題を早く終わらせるようにした。この大会は、今後の自分の人生の上でも重要だと思うので、部活を優先して毎日進めてきた。(片山)

プログラミングを担当しているので、毎日できるだけ本番と同じような状況で、ロボットを走行させた。問題点などを見つけて、その解決策を考えるようにした。(中西)

○普段はどのような練習に励まれていますか？

企画・プレゼンテーションで相手に意見を伝えるということをしている。主観的に考えるのではなく、相手はどう思うのか、相手が受け取りやすいように考えていく。チーム全体としてアドバイスをするので、感情的にならず、論理的に活動できるようにしてきた。うまくいかない時は先輩や葉山先生の言葉を思い出して、どうしたらいいのかをもう一度考え直していた。(森川椋)

これまでのプログラミングの経験を活かせるように、ロボットを観察しながら、どういうプログラムを積んでいるのか、計算式はどうか、どう動けばもっと効率的になるか。自分がどのように工夫すればチームに役立てるのかを考えながら活動した。(藤本)

○勝負のその日、朝ご飯は何を食べましたか？

集合時間の30分前に起きたので、朝ご飯は食べられなかった。(笑) (大島)

○みなさんに伝えたいことがあれば教えてください。

ロボットは「うまく作れた！」と思っても、それが逆効果になって動かなくなることがよくある。

難しいことだらけだけど、諦めたらそこで終わり。諦めるという選択肢を選ぶのではなく、

どうしたら乗り越えられるのかを考えて、これからも挑戦していきたい。(月見)

2024年度のアルバム

広報部部員が撮りためた
写真を掲載しています！

学生会本部役員

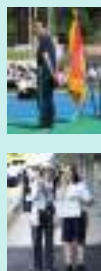
生活安全部

教育後援会理事會

文化体育部



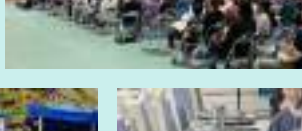
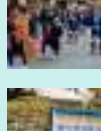
スポーツディ



アースディ

土曜ふれあいの会

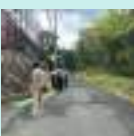
オープンスクール



生活安全部
立哨

文化体育部
団扇作り

東大寺見学会



編集後記



～広報部より感謝の気持ちをこめて～



広報部 部員



広報部の集まりは数回でしたが、保護者の繋がりができたことが嬉しかったです。作業については役割分担もしつつ、部長さん中心に進めてくださる方々がいて心強かったです。ありがとうございました。

3年 安藤

初めての役員でしたが、広報部のみなさんに助けてもらい活動することができました。スポーツディで子ども達の活躍を間近で見られたことがいい思い出です。

3年 向井

掛け持ちで仕事している中、遠方で1人暮らしの母の介護も重なり、大変な1年でした。部員としての活動は少ししかできませんでしたが、子供達や学校の様子をみる機会をいただき、ありがとうございました。

3年 西松

Thank
you

育桜会だよりに、趣味のカメラで撮影した子ども達の写真をたくさん掲載していただきました。広報部の皆さまと充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

2年 月見

保護者の方々と知り合えて、楽しく活動できました。学校に行く機会もでき、学校を身近に感じられました。ありがとうございました。

2年 今西

広報に関わることで、たくさんの方と知り合えて楽しく活動ができました。ありがとうございました。

1年 梅本



あっという間の一年でしたが、とても楽しく活動する事ができました。皆様ご協力いただき、そして読んでくださり有難うございました。

1年 清水

広報部では、生徒、先生、保護者の皆様と、お会いできる機会がたくさんありました。各部の活動の様子も知ることができ、関係が広がりました。

1年 厳樫



広報部 部長



GOOD TIMES

広報部部長 中野さん

121号も無事に発行することができました。
生徒さんの素晴らしい活動をメインに、これまでにない育桜会だよりが出来たのではないかと考えております。
勉強に、部活動に、学校外の活動に、本当にお忙しい中取材を受けてくださった生徒の皆様、ありがとうございました。
どうかこれからもご自身のスキルを余すことなく発揮され、ご活躍されることを心より願っております。
取材の際には保護者の方々にもご協力をいただき心より感謝申し上げます。
ご多用ながらもその愛情あふれるサポートの様子に、ただただ脱帽です。
お子様のこれからの更なるご活躍をお祈り申し上げます。
今回の取材にご協力を賜りました先生方、寄稿いただきました育桜会本部会長さま、各部長さま、また、掲載にご協力を賜りました教育後援会理事会のみなさまに心より感謝申し上げます。
そして、顧問として広報部員を導き、数々の私達のお願いや取材の際の様々なご手配をくださいました有馬先生、本当にありがとうございました。
最後に、この様な充実した紙面を発行することができたのも、子供のことやご家庭のこと、仕事やプライベート、ご多用にも関わらず広報部員の皆さまが共にご尽力くださった賜物です。
本当に、ありがとうございました。もし、まだまだあんな記事載せたかったよ！こんな記事も載せたかった！この記事なんてどう？なんてえられる方は、来年度、是非✧



広報部担当 有馬先生

主幹教諭 有馬一彦（広報部担当）

「これまでとこれからの育桜会だより」
育桜会だよりは、保護者が附中の姿をお伝えする「学校広報誌」として長らく続いてきました。そして、本号が121号となります。長らくは、印刷所に入稿し紙で配布する形を取ってきたのですが、昨年度からコドモンを使ったデジタル配信へと大変革を行いました。ペーパーレス化による環境配慮と印刷費の削減につながりました。
広報部の編集作業もオンライン編集ソフトを活用したり、打ち合わせをオンライン会議やチャットツールを使って行うなど、デジタル化した編集作業になっています。
構成も携帯・スマートフォンで見やすい紙面作りを考えていただき、写真を多く使いカラフルになってきました。
編集作業はデジタル化したのですが、取材は広報部員の方が臨場感のある写真を取るために行事に来ていただいたり、生徒にインタビューを行っていただいたりアナログ的なご努力をいただいています。
デジタルとアナログをうまく融合させた形で編集作業を行っていただいている広報部員のみなさまのご努力に感謝いたします。
保護者から見た学校の姿は、私たち教員にとっても貴重な視点となります。
これからも附中の情報を保護者の視点で伝える広報誌として「育桜会だより」が活躍することを期待しております。



発行 奈良教育大学附属中学校 育桜会
編集 広報部

